

令和2年1月15日

沖縄気象台

地方気象台における目視観測通報を自動化します

これまで地方気象台では、気温、風、降水量、日照などを自動で観測するとともに、職員が目視又は聴音により晴れや曇り、雨、雪、霧、雷などの天気や大気現象及び視程（見通しのきく距離）を観測してきました。

近年、気象レーダーや気象衛星観測等を活用した総合的な大気の把握が可能となる等の技術の進展を踏まえ、沖縄管内の地方気象台において、目視観測通報を自動化します。

なお、沖縄気象台では、これまでどおり職員による目視観測通報を継続します。

- 1 変更予定日
令和2年2月3日
- 2 対象となる地方気象台
 - ・南大東島地方気象台
 - ・宮古島地方気象台
 - ・石垣島地方気象台
- 3 変更点等
別紙のとおり

本件に関する問い合わせ先
沖縄気象台観測課 喜屋武
電話番号 098-833-4286

地方気象台における目視観測通報の自動化について

これまで地方気象台では、気温、風、降水量、日照などを自動で観測すると共に、職員が目視により、晴れや曇り、雨、雪、霧などの天気や大気現象及び視程（見通しのきく距離）を観測した結果を、毎日定められた時間に気象観測通報として発信しています。

近年、気象レーダーや気象衛星観測等を活用した、総合的な大気の把握が可能となる等の技術の進展を踏まえ、地方気象台における観測のあり方について、見直しを図りました。

このため、令和2年2月3日（予定）から、通報のために職員が目視により行っている観測を自動観測へ移行するとともに、一部の気象現象等の観測を終了します。

なお、沖縄気象台では、これまでどおり職員による目視観測通報を継続します。

■ 自動観測に移行する観測種目

- 以下赤枠内の大気現象については、職員による目視観測から自動観測に変わります。
- 視程（見通しのきく距離）も、新たに設置する視程計を用いた自動観測に変わります。
- 雷は、これまで職員が目視や聴音により観測していましたが、雷監視システム（LIDEN）と気象レーダーのデータを用いた自動観測に変わります。

〈今後、自動で観測する天気や大気現象〉

晴, 曇, 雨, 雪, みぞれ, 霧, もや, 煙霧, 雷

■ 目視観測通報の自動化に伴い観測を終了するもの

● 天気

快晴、薄曇

● 大気現象

現象の分類	目視観測通報の自動化に伴い観測を終了する大気現象
大気水象	雪あられ, 氷あられ, ひょう, 細氷, 凍雨, 霧雪, 着氷性の雨, ふぶき, しぶき, 霜, 結氷, 竜巻, 積雪, 冠雪
大気じん象	黄砂, 煙, 降灰, 風じん, 砂じん嵐, じん旋風
大気光象	かさ, 光冠, 彩雲, にじ
大気電気象	電光, 雷鳴

● 雲

雲量、雲形